

目次

洪水ハザードマップ(洪水災害予測地図)

対象となる河川について	1
ハザードマップの作り方について	2
ハザードマップの見方	3
氾濫流による家屋倒壊等氾濫想定区域	4
河岸侵食による家屋倒壊等氾濫想定区域	4
浸水継続時間	4
上越市洪水ハザードマップ区割り図	5-6
洪水ハザードマップ	7-52
上越市洪水ハザードマップ (浸水継続時間) 区割り図	53-54
洪水ハザードマップ(浸水継続時間)	55-68
洪水・土砂災害 指定緊急避難場所一覧	69-70
情報の伝わり方・受け取り方(情報収集の方法)	71
避難する際には十分な注意を	72
土砂災害は非常に危険です	72
雨の強さや川の水位を知るには	73-74
助け合いの気持ちを忘れずに	75
非常持出品・備蓄品リスト	76
「マイ・タイムライン」を作ろう	77-78
上越市に関する防災関係機関等	79
災害用伝言サービス	80
上越市安全メール	80

防災ガイド

【洪水ハザードマップについて】

洪水ハザードマップは、河川が氾濫したときに「**どこがどのくらい浸水するか**」「**どこへどのように避難したらよいか**」などをまとめたものです。

本ハザードマップには、国又は県が公表している洪水浸水想定区域図等を基に、関川水系20河川、柿崎川水系4河川、名立川水系1河川の計25河川を記載しています。

国又は県では、近年、集中豪雨等により想定を超える浸水被害が多発していることを踏まえ、これまでの「おおむね30年から100年に1回降る大雨(計画規模降雨)」から「おおむね1,000年に1回降る大雨(想定最大規模降雨)」に浸水想定を変更し、順次、公表しています。

市では今回、新たに公表された13河川の浸水想定を基に、上越市洪水ハザードマップを更新しました。これにより前回更新した9河川と合わせて、計22河川が「おおむね1,000年に1回降る大雨(想定最大規模降雨)」の浸水想定になっています。

また、浸水想定の変更に伴い、以下の3つも更新しています。

- ①堤防決壊時に河川から流れ込む水の力により、一般的な木造住宅が、倒壊・流出するおそれのある区域
(**氾濫流による家屋倒壊等氾濫想定区域**…4ページ参照)
- ②河川の激しい流れにより、河岸が削られ土地ごと流出し、住宅が倒壊・流出するおそれのある区域
(**河岸侵食による家屋倒壊等氾濫想定区域**…4ページ参照)
- ③浸水深0.5mを上回った時点から最終的に0.5mを下回るまでの通算時間
(**浸水継続時間**…4ページ参照)

【洪水ハザードマップの活用】

知る

自宅、勤務先、避難場所等の周辺、通学・通勤経路、避難場所までの経路における水害や土砂災害の危険性を知りましょう。
1～70ページ 洪水ハザードマップ 参照

学ぶ

市が発令する避難に関する情報と皆さんの命を守る行動、水位情報の入手方法、避難する際に注意すべきことなどについて学びましょう。
71～74ページ 防災ガイド 参照

備える

非常持出品や備蓄品の用意、防災行動計画(マイ・タイムライン)の検討、地域の防災訓練への参加を通じて、災害に備えましょう。
75～80ページ 防災ガイド 参照